

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301010100		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	生涯教育企画調整事業		予算事業名	社会教育事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 末政 友紀
		取組み事項	生涯にわたって学べる体制を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会教育法第15条及び第18条、生涯学習の振興のための施策の推進体制等の整備に関する法律					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	職員、関係課、文化団体、社会教育団体等					
	意図(どのような状態にしたいのか)	重複事業とならないように日程・内容調整を図り、効果的かつ効果的な生涯教育事業を推進する。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		国・県事業や市及び関係団体等、社会教育事業の企画・調整を行う			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	社会教育委員会	回数	1	1	1

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標	30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員			-		-	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	369,740	374,709	101	370,920	99	
	事業費	2,000,328	1,978,120	99	174,060	9	
	合計	2,370,068	2,352,829	99	544,980	23	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	2,370,068	2,352,829	99	544,980	23	
合計	2,370,068	2,352,829	99	544,980	23		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		社会教育委員会						
指標説明(式)		実施回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
回数	目標	1	1	100.0	1	100.0	0.0	
	実績	1	1	100.0	1	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		公民館運営審議会開催回数							
指標説明(式)		回数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	0	0	-	0	-			
	実績	0	0	-	0	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	重複事業による無駄・無理を排除し、効率的な事業を展開している。	4
	市民サービス	社会教育委員会を開催し、委員の意見を反映させた施策を実施している。	
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と統合し、効率的な運営を行っている	4
	コストの節減	公民館運営審議会との統合により、会議開催が減となっている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	公民館運営審議会と内容が重複する部分があり、統合した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	社会教育委員会との連携を図る。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301010200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	相生っ子学び塾事業		予算事業名	相生っ子学び塾事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 中濱 まきほ
		取組み事項	生涯にわたって学べる体制を整備する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市内小学校4, 5, 6年生及び保護者(4年生は珠算のみ)					
	意図(どのような状態にしたいのか)	基礎学力の定着、自学自習の姿勢を身につける。地域の人がボランティア講師として関わることにより、地域ぐるみで教育支援を行うことで、子どもたちの健やかな成長を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		基礎学力の定着・自学自習の習慣づけを行うことを目的に「現代版寺子屋」として開始。地域のボランティアの参加により、家庭の経済的負担なしで希望者が参加でき、対象を5、6年生とした国語・算数、英語、珠算の講座を実施。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	開設日数(国・算)	回	180	159	0	
	開設日数(英)	回	121	111	0	
	開設日数(珠算)	回	26	26	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.384	0.384	100	0.300	78	
	臨時職員	0.381	0.408	107	0.102	25	
支出内訳	人件費	4,279,385	4,252,869	99	2,682,698	63	
	事業費	4,038,193	3,295,410	82	768,850	23	
	合計	8,317,578	7,548,279	91	3,451,548	46	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	1,552,000	1,279,200	82		0	
	市債			-		-	
	その他	108,800		0		-	
	一般財源	6,656,778	6,269,079	94	3,451,548	55	
合計	8,317,578	7,548,279	91	3,451,548	46		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		参加者アンケートによる肯定意見数						
指標説明(式)		肯定意見数÷アンケート回答数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
%	目標	80	80	100.0	80	100.0	0.0	
	実績	64	76	118.8	-	-		
指標名2		延べ参加人数						
指標説明(式)		国語・算数+英語+珠算						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
数	目標	3500	3500	100.0	3000	85.7		
	実績	3196	2808	87.9	0	0.0		

【効率性】

指標名1		児童一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷児童のべ登録数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	34946	32392	92.7	25418	78.5			
	実績	37132	31192	84.0	-	-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	期待する目標	家庭の経済的負担なしで誰でも希望すれば参加でき、希望者に勉強できる機会を提供することが目標であるが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、事業を中止とした。	3
	成果の向上	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から事業を中止としたため目に見える成果はなかったが、教科化された英語の学習強化を令和3年度より目指している。	
効率性	執行体制の効率性	効果を得るためには学校との連携を拡大していく必要がある。学習の進め方や教材についてボランティア講師等の意見を参考に検討し、令和3年度より今まで以上に有効な授業形態を作るよう工夫することとした。	3
	手段の最適性	基礎学力を身につける必要のある子どもや保護者への声かけ等、学校とのさらなる連携が必要である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	教科化された英語を少しでも子どもたちになじませるように、英語の学習形態について検討することとした。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	事業中止等の連絡を効率良くするため、さくら連絡網(メール等による連絡)を導入する。

配点	32.5
総合評価	21

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0103010200		事業の種類	3		
年度	2	事務事業名	公民館管理事業		予算事業名	公民館管理事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
		施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名	中濱 まきほ
		取組み事項	サービスの充実を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		公民館環境整備事業			公民館維持管理事業			
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	公民館施設運営						
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために公民館の維持管理をするとともに、公民館の運営について審議することで、各活動が行える状態にする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	施設	個所	5	5	5	
	公民館運営協議会	回数	5	5	5	
	維持修繕費	金額	1,108,518	3,479,755	6,633,006	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.284	0.284	100	0.480	169	
	臨時職員	1.500	1.500	100	2.400	160	
支出内訳	人件費	6,634,496	6,298,469	95	10,227,070	162	
	事業費	13,415,271	16,264,554	121	18,939,484	116	
	合計	20,049,767	22,563,023	113	29,166,554	129	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他	1,793,750		0		-	
	一般財源	18,256,017	22,563,023	124	29,166,554	129	
合計	20,049,767	22,563,023	113	29,166,554	129		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設利用者数						
指標説明(式)		年間利用者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人数	目標	57000	57000	100.0	50000	87.7	0.0	
	実績	50470	46855	92.8	33200	70.9		
指標名2		公民館運営協議会開催回数						
指標説明(式)		回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
回数	目標	5	5	100.0	5	100.0		
	実績	5	5	100.0	5	100.0		

【効率性】

指標名1		1館当たりの維持管理経費							
指標説明(式)		年間維持管理経費÷施設数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4166876	4703200	112.9	5010239	106.5			
	実績	4009953	4512604	112.5	5833310	129.3			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館運営協議会設置公民館については、地域からの意見等を反映させている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館運営協議会において、地域からの意見等を反映させている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化に伴う管理費の増大が課題

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	トイレの設備改修などを行い、幅広い年代が利用しやすい施設となるようにすすめていく。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	公民館活動事業		予算事業名	公民館活動事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 中濱 まきほ
		取組み事項	サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		社会教育法第5条					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	定期講座	回数	637	530	503	
	定期講座受講者	人数	9,245	7,823	6,661	
	随時講座	回数	108	115	89	
	随時講座受講者	人数	1,482	1,648	1,002	

3 投入資源

		会計区分	一般会計				事業費単位:円	
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.040	0.040	100	0.140	350		
	臨時職員	3.026	3.017	100	6.666	221		
支出内訳	人件費	9,046,094	8,363,659	92	19,668,412	235		
	事業費	14,278,707	13,674,253	96	4,313,471	32		
	合計	23,324,801	22,037,912	94	23,981,883	109		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	23,324,801	22,037,912	94	23,981,883	109		
合計	23,324,801	22,037,912	94	23,981,883	109			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		講座受講率						
指標説明(式)		延受講者÷延講座定員						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人数	目標	70	70	100.0	70	100.0	0.0	
	実績	64.6	66.6	103.1	59.8	89.8		
指標名2		年間利用者数						
指標説明(式)		利用者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人数	目標	60,000	60,000	100.0	60,000	100.0		
	実績	50,727	46,997	92.6	33,276	70.8		

【効率性】

指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷(定期+随時)参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	-	-	-	-	-			
	実績	2,174	2,326	107.0	3,129	134.5			

指標名2		一講座あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷(定期+随時)講座数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	-	-	-	-	-			
	実績	31,308	34,167	109.1	40,509	118.6			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し市民の生涯学習の支援を行ったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、講座等の実施回数は減少した。	4
	市民サービス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、積極的な事業展開は難しかったが、住民の公民館を安心して利用したいという声に応えられるよう、感染症対策を講じた上で開催した。	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との情報交換を定期的に行い、市内の講師の発掘や、講師謝礼の発生しないような講座の設立を行った。	4
	手段の最適性	季節に合わせた随時講座を企画したり、参加の多かった講座を再度企画したりして、参加者数増につながる取り組みを行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	緊急事態宣言等の影響を受けて開館できなかった期間を除けば、概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに合った事業を展開し、新規の利用者増につながるような取り組みが必要

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	人気のある随時講座を定期講座として定期的に行うことで新規の定期的な利用者を増やしていく

配点	32.5
総合評価	22.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020400		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	多目的研修センター管理事業		予算事業名	多目的研修センター管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名	中濱 まきほ
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		若狭野多目的研修センター環境整備事業					
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	多目的研修センター施設運営					
	意図(どのような状態にしたいのか)	利用者のために多目的研修センターの維持管理をする					

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育類似施設として管理運営を行う			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	施設	施設	1	1	1
	維持修繕費	金額	160,920	1,703,744	995,900

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.060	0.060	100	0.140	233	
	臨時職員	0.300	0.300	100	0.520	173	
支出内訳	人件費	1,646,480	1,583,109	96	2,750,139	174	
	事業費	1,984,323	4,032,781	203	3,168,947	79	
	合計	3,630,803	5,615,890	155	5,919,086	105	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	3,630,803	5,615,890	155	5,919,086	105	
合計	3,630,803	5,615,890	155	5,919,086	105		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		施設利用者数						
指標説明(式)		年間利用者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人数	目標	8000	8000	100.0	8000	100.0	0.0	
	実績	7334	6386	87.1	4119	64.5		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		維持管理経費							
指標説明(式)		事業費+人件費							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4932310	4895074	99.2	5224641	106.7			
	実績	3630803	5615890	154.7	5919086	105.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	施設の維持管理に努め、より施設の利便性を高め利用拡大に努めた	4
	組織運営・適正管理	公民館と同様の取り扱いとしている	
効率性	コストの節減	光熱水費等節約に努めている	4
	執行体制の効率性	公民館と同様の取り扱いとしている	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	施設の老朽化が課題

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	施設のバリアフリー化を図る

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020500		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	多目的研修センター活動事業		予算事業名	多目的研修センター活動事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
		施策名(中)	いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 中濱 まきほ	
		取組み事項	サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	施設を利用する市民						
	意図(どのような状態にしたいのか)	社会環境の変化に対応した学習ができる場、同じ目的をもった自主グループの活動の場の提供、地域の生涯学習、コミュニティ活動の場とする						

2 事業の概要 Do

実施の概要		社会教育類似施設として様々な事業を展開し、市民の生涯学習を支援する				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	定期講座	回数	109	93	82	
	定期講座受講者	人数	1622	1186	1001	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.008	0.008	100	0.064	800	
	臨時職員	0.908	0.890	98	1.300	146	
支出内訳	人件費	2,943,464	2,703,329	92	4,382,748	162	
	事業費	2,836,994	2,603,382	92	749,260	29	
	合計	5,780,458	5,306,711	92	5,132,008	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	5,780,458	5,306,711	92	5,132,008	97	
合計	5,780,458	5,306,711	92	5,132,008	97		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		定期講座参加者数						
指標説明(式)		参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人数	目標	1400	1500	107.1	1300	86.7	0.0	
	実績	1622	1186	73.1	1001	84.4		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		参加者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4094	3351	81.9	3947	117.8			
	実績	3563	4474	125.6	5126	114.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	社会教育施設として幅広い講座を開催し、市民の生涯学習の支援を行ったが新型コロナウイルス感染症の影響で、講座開催回数、参加人数の減少があった	3
	市民サービス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、積極的な事業展開は難しかったが、住民のニーズに対応した事業を展開できるようにした	
効率性	コストの節減	講師謝礼等、近隣自治体との調整を図っている	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	新型コロナウイルス感染症感染拡大が収束しない中、どのように市民ニーズに対応するかが課題である

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	安全を確保しつつ、事業の広報を積極的にすすめる



配点	32.5
総合評価	23

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010301020600		事業の種類	3	
年度	2	事務事業名	図書館管理運営事業		予算事業名	図書館運営管理事業 優先度 3	
まちづくり目標		健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
施策名(中)		いつでもどこでも学べる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名	中濱 まきほ
取組み事項		サービスの充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名		図書館管理システム更新			図書館維持修繕工事		
		図書館更新事業			図書館トータルシステム管理委託事業		
根拠法規及び関連法規		社会教育法、図書館法、相生市立図書館条例・同条例施行規則					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の社会教育と文化の発展を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		図書館への関心を高め、読書への理解を深めるとともに、館の適切な管理運営を行う				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	貸出利用者数	人	31472	32184	27466	
	会議室等利用者数	人	2615	2354	1135	
	蔵書冊数	冊	126280	126964	128715	
	登録者数	人	16129	16741	17117	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	1.972	1.854	94	0.120	6		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	15,029,588	14,075,769	94	1,183,320	8		
	事業費	49,407,792	39,818,390	81	74,354,150	187		
	合計	64,437,380	53,894,159	84	75,537,470	140		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	64,437,380	53,894,159	84	75,537,470	140		
合計	64,437,380	53,894,159	84	75,537,470	140			

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		住民一人当りの蔵書冊数						
指標説明(式)		蔵書冊数÷人口						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
冊	目標	4	4	100.0	4	100.0		0.0
	実績	4	4	100.0	4	100.0		
指標名2		一日当りの利用者数						
指標説明(式)		(貸出利用者数+会議室等利用者数)÷開館日数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	123	122	99.2	122	100.0		
	実績	122	121	99.2	109	90.1		

【効率性】

指標名1		利用者一人当たりの開館コスト							
指標説明(式)		図書館管理運営事業費÷(貸出利用者数+会議室等利用者数)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1868	1625	87.0	1886	116.1			
	実績	1890	1560	82.5	2641	169.3			
指標名2		人口に占める登録者率							
指標説明(式)		登録者数÷人口×100							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
%	目標	53	55	103.8	58	105.5			
	実績	55	57	103.6	59	103.5			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	ホームページ等により、祝日開館、開館時間延長が市民に浸透してきた。	4
	組織運営・適正管理	図書館一部業務委託を実施し、コストの低減化を図りながら、サービスの向上に努めた。	
効率性	コストの節減	図書館一部業務委託により、人件費減を継続した。	4
	手段の最適性	図書館一部業務委託事業者と定期的に打合せを行い、利用者サービスの向上に努めた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止による休館日の増加で市民サービスが低下した。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	市民サービス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のための対策を取りつつ、利用制限中の図書貸し出しを工夫する

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302010100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	青少年育成補助金事業		予算事業名	青少年育成補助金事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦 担当者名 山本 健太	
		取組み事項	青少年健全育成体制を整備する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者					
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を推進することにより、青少年の健全育成を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		青少年の団体に対し補助金を交付する				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	事業補助金交付団体	団体数	2	2	2	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.024	0.024	100	0.024	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	548,156	552,069	101	533,400	97		
	事業費	185,000	185,000	100	155,000	84		
	合計	733,156	737,069	101	688,400	93		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	733,156	737,069	101	688,400	93		
合計		733,156	737,069	101	688,400	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		事業補助金交付団体						
指標説明(式)		団体						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
団体数	目標	2	2	100.0	2	100.0	0.0	
	実績	2	2	100.0	2	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		事業補助金							
指標説明(式)		金額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	140000	140000	100.0	140000	100.0			
	実績	140000	140000	100.0	110000	78.6			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	少子化や団体加入に対する意識の変化等により、団体の会員数は減少傾向にあるが、青少年健全育成のための事業を支援することは必要である。	4
	期待する目標	様々な事業を展開することで、青少年の健全育成・地域の活性化に寄与している。	
効率性	コストの節減	団体の活動内容を検証しながら、補助金の額を検討していく	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	少子化により会員数が減少傾向である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	団体の活動に対する検証を続け、団体の存在を周知する。

配点	32.5
総合評価	21.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	こども学習センター管理事業		予算事業名	こども学習センター管理事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会教育管理課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	佐原 正樹 担当者名 國重 勉	
		取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名	こども学習センター耐震改修事業				
		根拠法規及び関連法規	相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	不登校児童生徒、青少年及び子育て中の保護者					
	誰(何)を対象として	施設管理					
	意図(どのような状態にしたいのか)	適正な施設管理					

2 事業の概要 Do

実施の概要		教育の拠点施設としてのこども学習センターの施設維持管理を行う。 こども学習センター機能は、子育て学習センター、少年育成センター、適応教室、教育研究所である。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	維持修繕件数	件	4	5	5	
	工事請負件数	件		1		

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.220	0.220	100	0.212	96		
	臨時職員	0.136	0.136	100	0.004	3		
支出内訳	人件費	2,381,804	2,347,309	99	1,811,276	77		
	事業費	5,040,984	64,577,336	1,281	2,822,524	4		
	合計	7,422,788	66,924,645	902	4,633,800	7		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	7,422,788	66,924,645	902	4,633,800	7		
	合計	7,422,788	66,924,645	902	4,633,800	7		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)		設置目的を達成するため、施設の適正な維持管理を行う。						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1		各年度の決算額(千円)							
指標説明(式)		前年比(人的経費、臨時的経費を除く。)							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	2,978	2,997	100.6		0.0			
	実績	2,751		0.0		-			

指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	予算の範囲内ではあるが、不具合部分に対して有効な維持管理を実施できた。	4
	市民サービス	施設修繕を実施することで、利用しやすい環境維持ができた。	
効率性	コストの節減	必要最小限のコストで管理できた。	4
	手段の最適性	施設運営者の要望を聴取し、修繕箇所を協議の中で決定するなど、効率的に実施できた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	耐震改修工事を実施し、施設の耐震性確保を行った。	4

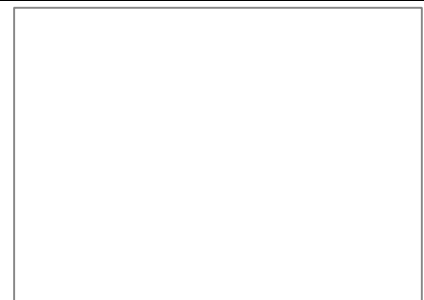
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	施設の老朽化により改修箇所が増加しているが、適切な優先順位を持って改修を進める。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	手段の最適性	利用者の安全を最優先に考え、優先順位を持って改修を進める。



配点	32.5
総合評価	24

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	0103020200		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	青少年育成事業		予算事業名	青少年育成事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	
		取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る		実施計画への記載	無	
					担当者名	山本 健太	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年及びその保護者					
	誰(何)を対象として	青少年及びその保護者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年のための生涯学習活動を実施することにより、青少年の健全育成を図る					

2 事業の概要 Do

実施の概要		相生子どもチャレンジパスポート事業、成人式を、青少年育成事業として実施する。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	げんキッズイングリッシュキャンプ	人数	-	-	-
	チャレンジパスポート提出人数	人数	286	308	-
	成人式参加者数	人数	201	223	182
	国内交流事業	人数	-	-	-

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.388	0.388	100	0.393	101		
	臨時職員	0.400	0.400	100	0.480	120		
支出内訳	人件費	4,361,732	4,262,029	98	4,352,840	102		
	事業費	879,708	724,772	82	632,000	87		
	合計	5,241,440	4,986,801	95	4,984,840	100		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	0	0	-	0	-		
	一般財源	5,241,440	4,986,801	95	4,984,840	100		
	合計	5,241,440	4,986,801	95	4,984,840	100		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		国内交流事業参加人数						
指標説明(式)		参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	-	-	-	20	-	0.0	
	実績	-	-	-	-	-		
指標名2		相生子どもチャレンジパスポート提出人数						
指標説明(式)		提出人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	290	290	100.0	-	-		
	実績	286	308	107.7	-	-		

【効率性】

指標名1		一人当たりコスト(国内交流事業)							
指標説明(式)		事業費÷参加人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	-	-	-	96000	-			
	実績	-	-	-	-	-			
指標名2		一人あたりコスト(チャレンジパスポート)							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷提出人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	20000	18162	90.8	-	-			
	実績	18326	16191	88.3	-	-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の理由により国内交流事業等が中止になったが、人生で一度きりの成人式は教育委員会・実行委員会で協力して実施することができた。	3
	市民サービス	子どものニーズに応える事業展開を行い、適切なサービス提供を行う。	
効率性	コストの節減	事業全体としては、参加者数に対し効率的に運営出来ている。	3
	手段の最適性	成人式について、教育委員会で検討し、徹底した感染対策の上で実施することができた。内容についても、感染リスクができる限り低くなるように変更した。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	少子化により、成人式対象者が減少している。参加率を上げるために、成人式の内容を実行委員会と検討していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民ニーズに応えるため、参加しやすい日程で実施している。

配点	32.5
総合評価	23.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302020300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	放課後子ども教室推進事業		予算事業名	放課後子ども教室推進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 山本 健太
		取組み事項	青少年活動の機会や場の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	小学校児童とその保護者					
	誰(何)を対象として	小学校児童					
	意図(どのような状態にしたいのか)	放課後に安心安全に活動できる場所の確保及び地域・世代間交流					

2 事業の概要 Do

実施の概要		小学校全学年を対象に、週2回から3回、放課後から午後4時30分(冬季は午後4時)まで、地域住民の協力の下、学校施設を利用し、安心できる学習の場や遊びの場を提供する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	開設校	学校数	7	7	0	
	登録サポーター	人数	49	54	51	
	登録児童	人数	343	355	0	

3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.156	0.156	100	0.238	153	
	臨時職員	0.608	0.608	100	0.160	26	
支出内訳	人件費	3,212,996	3,077,949	96	2,422,617	79	
	事業費	2,004,661	1,630,394	81	161,000	10	
	合計	5,217,657	4,708,343	90	2,583,617	55	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金	1,113,000	843,300	76	846,100	100	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	4,104,657	3,865,043	94	1,737,517	45	
合計	5,217,657	4,708,343	90	2,583,617	55		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		従事ボランティア数						
指標説明(式)		延従事ボランティア数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人	目標	2500	2500	100.0	2500	100.0	0.0	
	実績	2056	1683	81.9	0	0.0		
指標名2		参加児童数						
指標説明(式)		延参加児童数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	15000	15000	100.0	15000	100.0		
	実績	13873	12517	90.2	0	0.0		

【効率性】

指標名1		ボランティア一人当たりの児童数							
指標説明(式)		延参加児童数÷延従事ボランティア数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	6	6	100.0	6	100.0			
	実績	6.7	7.4	110.4	0	0.0			

指標名2		受け入れ一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷延べ参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	372	380	102.2	336	88.4			
	実績	376	376	100.0	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	組織運営・適正管理	令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止を理由に事業を中止した。令和3年度から本事業について新たな取り組みを図る。	3
	市民サービス	宿題や復習などの学び、体育館や運動場でのボール遊びや伝統遊びなど様々な活動を通して、地域のボランティアとの交流を図り、子どもの安全な居場所となっている。	
効率性	コストの節減	指導ボランティアの適切な配置により、無駄のない運営が行えるよう計画した。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおり	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	児童6人に対してサポーターが1人になるように地域ボランティアの確保。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	未来を担う子どもたちに、伝統的な遊び等を体験できるような企画を計画する。

配点	32.5
総合評価	19.5

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302030100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	補導委員活動事業		予算事業名	補導委員活動事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	山本 哲也	
		取組み事項	補導活動や相談体制の充実を図る		実施計画への記載	無	
					担当者名	竹口 智哉	
					主要事業の指定	無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年					
	誰(何)を対象として	青少年					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		少年の補導、少年の非行防止、関係諸機関との連絡調整、青少年や家族の悩みに対し適切な助言と指導の充実を図る。			
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績
	補導回数	回	196	198	152
	補導従事者数	人	950	973	581

3 投入資源

		一般会計						事業費単位:円
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.080	0.080	100	0.080	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	964,460	965,909	100	912,520	94		
	事業費	1,506,124	1,487,920	99	1,129,032	76		
	合計	2,470,584	2,453,829	99	2,041,552	83		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,470,584	2,453,829	99	2,041,552	83		
	合計	2,470,584	2,453,829	99	2,041,552	83		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の非行を防止し、その健全な育成が図れた。	4
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた青少年育成活動が効果的に実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	4
	執行体制の効率性	効果的に活動体制により、効率的に行うことができた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	コロナウイルス感染症の影響により、一部事業の実施を見送ることとなったが、概ね計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係機関の役割を明確にし、協力体制を維持する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	関係機関の役割を明確にし、協力体制を維持する。

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040100		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	青少年問題協議会運営事業		予算事業名	青少年問題協議会運営事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	山本 哲也 担当者名 竹口 智哉	
		取組み事項	地域ぐるみで健全育成を推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規	相生市青少年問題協議会設置条例 地方青少年問題協議会法(昭和28年法律第83号)第6条				
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年					
	誰(何)を対象として	青少年					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の指導、育成、保護及び矯正					

2 事業の概要 Do

実施の概要		青少年問題協議会において、青少年の指導、育成、保護及び矯正に関する事項を調査審議し、関係行政機関相互の連絡調整を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.160	0.140	88	0.140	100		
	臨時職員	0.008		0		-		
支出内訳	人件費	1,581,332	1,409,309	89	1,318,720	94		
	事業費	121,600	106,400	88	91,200	86		
	合計	1,702,932	1,515,709	89	1,409,920	93		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,702,932	1,515,709	89	1,409,920	93		
	合計	1,702,932	1,515,709	89	1,409,920	93		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	青少年の指導、育成、保護及び矯正。	4
	組織運営・適正管理	法律に基づいた実施体制により効果が得られた。	
効率性	執行体制の効率性	協議会の運営が効率的に行われた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	なし

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	組織運営・適正管理	なし

配点	25
総合評価	18

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040200		事業の種類	1	
年度	2	事務事業名	青少年健全育成活動事業		予算事業名	青少年健全育成活動事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	山本 哲也 担当者名 竹口 智哉	
		取組み事項	地域ぐるみで健全育成を推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		相生市立こども学習センターの設置及び管理に関する条例(平成14年条例第42号)					
事業の目的	誰のために(具体的に)	青少年					
	誰(何)を対象として	青少年					
	意図(どのような状態にしたいのか)	青少年の非行を防止し、その健全な育成を図ることを目的とする。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		中学校区青少年健全育成協議会の活動を通して、環境浄化活動や青少年の問題行動の未然防止を地域ぐるみで取り組む。また、青少年や家族の悩みに対し、適切な助言と指導の充実を図る。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	教育相談	件	92	83	94	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.076	0.080	105	0.080	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	934,724	965,909	103	912,520	94		
	事業費	6,400,210	6,229,054	97	2,737,213	44		
	合計	7,334,934	7,194,963	98	3,649,733	51		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金	602,200	356,000	59	350,000	98		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	6,732,734	6,838,963	102	3,299,733	48		
	合計	7,334,934	7,194,963	98	3,649,733	51		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1		相談経費							
指標説明(式)		事業決算額÷相談件数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	81,850	83,541	102.1	39,965	47.8			
	実績	69,568	73,283	105.3	29,119	39.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	中学校区毎にスクールソーシャルワーカーを配置し、各小中学校、保護者への指導を充実させたことで、児童・生徒の健全な育成を図ることができた。	5
	関係(根拠)法令等から見た効果	法律に基づいた育成活動が実施できた。	
効率性	コストの節減	効率的なコストの運用が図れた。	4
	執行体制の効率性	学識経験者等による執行体制により効率的活動の実施が行えた。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	5

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	児童生徒や保護者からの相談に専門的に対応できる体制を維持する。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	学校や関係機関が組織として情報を共有し、状況に応じた対応を徹底する。

配点	25
総合評価	20

事務事業評価シート

1 基本情報

		事業番号	010302040300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業		予算事業名	相生市民さわやかあいさつ運動事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課	
		施策名(中)	地域で青少年健全育成の環境をつくる		担当課長	松尾 次郎 担当者名 関本 麻梨香	
		取組み事項	地域ぐるみで健全育成を推進する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
		実施計画事業名					
		根拠法規及び関連法規					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民総ぐるみのあいさつ運動を推進することにより、青少年の健全育成や社会性を育むとともに、地域の青少年は地域で守り育てる意識の高揚を図る。					

2 事業の概要 Do

実施の概要		あいさつ運動キャンペーン実施数				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	実施数	回	3	3	3	

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.012	0.012	100	0.012	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	458,948	463,389	101	452,160	98		
	事業費	440,640	395,604	90	389,400	98		
	合計	899,588	858,993	95	841,560	98		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	899,588	858,993	95	841,560	98		
	合計	899,588	858,993	95	841,560	98		

※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

4 評価指標

【有効性】

指標名1		市内啓発範囲						
指標説明(式)		あいさつ運動のぼり配付自治会数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
自治会	目標	23	23	100.0	23	100.0	0.0	
	実績	23	23	100.0	23	100.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		あいさつ運動キャンペーン実施数							
指標説明(式)		あいさつ運動啓発のため実施したキャンペーンなどの数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
回	目標	3	3	100.0	3	100.0			
	実績	3	3	100.0	3	100.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	連合自治会や市内事業所等の協力により啓発できている。	3
効率性	コストの節減	啓発用のぼりの適正な管理が必要である。	3
	手段の最適性	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため街頭キャンペーンは実施なしであったため、キャンペーン以外で、広く啓発できる手法の検討が必要である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	配布数や在庫数、作成数など啓発用のぼりの適正な管理が必要である。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	コストの節減	必要枚数を調査し、隔年での作成とすることで、コスト単年度あたりのコストを節減する。

配点	32.5
総合評価	20.5